

■諏訪根自子 ヴァイオリニスト。「美貌の天才少女」と一世を風靡,ヨーロッパに渡り,国際的に活躍した。

- すわねじこ
- 大暴落・・・1920＝ 東京府曲豆多摩郡渋谷町で、諏訪順次郎、瀧の長女に生まれる。
- 原敬首相暗殺1921＝ 1歳：母の聴く赤盤レコードに合わせて声をあげたという。この頃、ジンバリスト、クライスラー、ハイフェッツら著名なヴァイオリニストが続々来日。
- 関東大震災・1923＝ 3歳：一家で、北豊島郡高田町に転居。
- 護憲三派圧勝1924＝ 4歳：父に伴われ、再来日した_ジンバリストを聴いて感動、すぐに、小野アンナの門を叩いて、
- 治安維持法・1925＝ 5歳：中島田鶴子の手ほどきを受けて後、小野アンナに直接師事し、
- 円本時代始・1926＝ 6歳：白系ロシア人ヴァイオリニストのモギレフスキーが初来日。すくすくと才能を伸ばし、
- 金融恐慌・・・1927＝ 7歳：モギレフスキーが再来日し、日本に定住。_一条公爵家の園遊会の余興として演奏、来賓たちを驚かせ、その後も、著名ヴァイオリニストが一度ならず、何度も来日、ヴァイオリン愛好熱の高まるなか、
- 世界恐慌・・・1929＝ 9歳：小野アンナ門下の発表会に出演し注目を集める。
- 海軍軍縮条約1930＝10歳：音楽評論家野村光一の紹介で、_モギレフスキーに師事。小野アンナに伴われて、4回目の来日で投宿中のジンバリストを訪ねて、演奏を聴いてもらい絶賛され、
- 満州事変・・・1931＝11歳：***朝日新聞に「ヴァイオリンの天才少女現る」の記事。**
- 五一五事件・1932＝12歳：日本青年館で_デビュー演奏会。来日中のフランスの女性ヴァイオリニスト、ルネ・シュメーから「こんなに正確に弾く人は知りません。完全な技術です」と評される。
- 国際連盟脱退1933＝13歳：「家出事件」が報じられるが。真相は、両親の不和から母に連れられて家を出たもの。_新響公演にソリストとして招かれ、山田耕筰指揮でオーケストラと初共演し、日本コロムビアでも初録音。
- 二二六事件・1936＝16歳：_ベルギーのブリュッセルへ留学し、宮廷ヴァイオリニストのエミール・ショーモンに師事。
- 日中戦争始・1937＝17歳：第1回ウジエヌ・イザイ・コンクールを見学、優勝者オイストラフの妙技に感銘を受ける。大使令嬢の来栖輝とともにブリュッセルの飛行場に、朝日新聞社の神風号親善訪問を出迎え、花束贈呈。
- 健保+総動員 1938＝18歳：大倉喜七郎男爵の後援で_パリへ移り、ボリス・カメンスキーに師事。
- 第二次大戦始1939＝19歳：_パリでデビュー演奏会。その前記事が朝日新聞に掲載され、日本のファンに久々の朗報となる。
- 大政翼賛会・1940＝20歳：第二次大戦で、音楽家仲間とともに一旦避難するが、パリに戻り、邦人の即時帰国が勧告で、岡本太郎、荻須高德、原智恵子らが帰国するなか、ドイツ軍による占領後もパリにとどまる。
- 日米開戦・・・1941＝21歳：マルセイユの日本総領事館主催の日仏合同音楽会に出演して絶賛され、コンセール・ラムルーの演奏会でも、ジャック・ティボーに賞賛される。パリを訪れたベルリンの日本大使館員大賀小四郎と初めて出会う。
- ・・・1942＝22歳：ベルリン市長の招きで同地で越年し、大晦日に大島浩大使一行とオペレッタ「こうもり」を観劇。
- 創価学会検挙1943＝23歳：***ナチスの宣伝相ゲッペルスから名器ストラディヴァリウスを贈呈され、ベルリン・フィルと協演。**
- 年金+総武装 1944＝24歳：「パリのカメンスキー宅へ戻るが、連合軍のノルマンディーに上陸で、ドイツと同盟関係にある在仏日本人とともに、ベルリンへ逃避行。スイスのチューリヒ、ジュネーヴ、ローザンヌで演奏会。
- 敗戦・・・1945＝25歳：_ベルリン日本大使館関係者とともに疎開中、アメリカ軍に拘束され、日本へ移送されて浦賀に帰還。
- 新憲法公布・1946＝26歳：_【東宝】と【朝日新聞】の共同主催で「諏訪根自子帰朝第一回記念演奏会」開催。帝劇のほか、日本各地で演奏会開催。いずれも満員礼状となり、【東宝】の専属ソリストとして第一線の演奏活動が始まる。
- 新憲法施行・1947＝27歳：帝劇での「新憲法施行記念祝賀会」、東宝交響楽団グランド・コンサートに出演。
- 極東裁判決・1948＝28歳：日劇で東宝交響楽団と協演し、NHKラジオ「土曜コンサート」で放送。東宝芸術映画「幸運の椅子」に出演。
- 三大事件・・・1949＝29歳：東宝交響楽団との協演続き、NHKラジオ第一放送「放送音楽会」へも出演も始まるなか、
- 朝鮮戦争始・1950＝30歳：「モギレフスキー教授滞日二十五年記念諏訪根自子謝恩演奏会」に出演、収益の一部は腎臓病悪化で入院していた恩師モギレフスキーに贈呈された。ピアニスト田村宏との協演が始まる。
- 独立回復・・・1951＝31歳：東宝交響楽団から東京交響楽団への改組記念演奏会、ローゼンストック再来日記念の日本交響楽団定期演奏会に出演し、ハリウッドボウルからの招待で、同オーケストラと協演。
- TV放送始・・・1953＝33歳：_来日予定のジャック・ティボーが飛行機墜落事故で死亡。恩師モギレフスキーが死去、霊前で演奏。
- 自衛隊発足・1954＝34歳：NHK交響楽団定期公演に出演。_弟重磨が谷川岳で消息を絶つ。
- 55年体制始・1955＝35歳：ニッポン放送で「バッハ無伴奏」全曲を2週にわたって放送。
- 国連加盟・・・1956＝36歳：なべ底不況・1957＝37歳：「小野アンナ女史楽壇生活五十年記念・謝恩演奏会」に出演、巖本真理と二つのヴァイオリン演奏。
- 安保闘争・・・1960＝40歳：「小野アンナ女史をおくるヴァイオリン演奏会」に出演。
- タイタイ病始・1961＝41歳：NHK交響楽団との協演、_以後、出演の記録はなくなる。
- 全国総合計画1962＝42歳：田中園子伴奏で録音の「世界音楽全集」第20巻ヴァイオリンIV刊行。_恩師小野アンナがソ連へ帰国。
- 大学紛争始・1965＝45歳：いざなぎ景気1966＝46歳：加藤潔の尽力で「音楽の心モギレフスキー教授を記念して」発刊され、師の思い出を寄稿。この年、小野アンナの同門の巖本真理が巖本真理弦楽四重奏団を旗揚げしソリストから室内楽奏者に転じている。
- 霞ヶ関ビル・1968＝48歳：【講談社】野間省一社長夫妻の媒酌で、_戦時下の外交官補だった東京大学教授の大賀小四郎と結婚、
- 全共闘ピーク・1969＝49歳：_ケルン日本文化会館初代館長に就任した夫とともに、同地に赴き、
- 大阪万博・・・1970＝50歳：日本文化会館で、ケルン歌劇場の第一バス歌手大橋国一の「歌曲とアリアのタベ」開催、歌唱に聴き入る。
- ドルショック・・・1971＝51歳：ヨーロッパ周遊途上の昭和天皇・皇后をケルン日本文化会館に迎え、館長夫人として接待にあたる。
- 日中国交回復1972＝52歳：_任期を終えた夫とともに帰国。
- 石油ショック1973＝53歳：角栄金脈辞任1974＝54歳：ケアンブル事件1975＝55歳：夫が定年で、独協大学外国語学部教授に変わる。_父順次郎が死去。
- 田中角栄逮捕1976＝56歳：_三越名人会に出演し、久々の公的演奏として話題になり、
- 成田衝突・・・1978＝58歳：義弟信木三郎の勧めで、私家版として「_バッハ無伴奏ソナタとパルティータ」の録音を開始、
- 革新大敗北・1979＝59歳：神戸元町の鳳月堂ホールでの「_諏訪根自子ヴァイオリンコンサートのタベ」に出演。恩師小野アンナがソ連で死去、小野アンナの同門でかつてライバル視された巖本真理が予定された演奏会当日に死去。
- 貿易摩擦問題1980＝60歳：アマチュア画家の全国組織チャールズ会から招かれて同会の記念公演に出演。_母の瀧が死去。
- ・・・1981＝61歳：神戸市から招聴され、伊藤ルミとのデュオ・コンサートに出演。***「諏訪根自子 バッハ・無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ全曲」の3枚組LPレコードが発売、音楽雑誌各誌にCD評が掲載される。**
- 中曽根内閣・1982＝62歳：デイズニャント 1983＝63歳：東京文化会館での「ブラームスソナタのタベ」でヴァイオリン・ソナタ全3曲を演奏、音楽の友ホールの開館記念公演の一環「諏訪根自子ヴァイオリン・リサイタル」に出演、ピアノ伴奏はいずれも田中園子で、その後もコンビ。深田祐介が根自子と神風号を主題にした「美貌なれ昭和」を出版。
- ・・・1984＝64歳：茅ヶ崎市民会館での「諏訪根自子ヴァイオリン独奏会」に出演。ベルリン時代から苦難をともにしたかつての大使夫人大島豊子の訪問を受け涙の再会。東京文化会館小ホールでピアノの田中園子、チェロの青木十良との協演開催、写真週刊誌フォーカスが「二百歳トリオ!」と大きく報じる。町田市民ホールでの「諏訪根自子ヴァイオリン・リサイタル」が**最後のコンサート出演となり、**
- ジャポニカ機墜落1985＝65歳：ベーターヴェン「スプリング」「クロイツェル」両ソナタを録音。テレビ朝日がドラマ「美貌なれ昭和」放映。
- ソ連崩壊・・・1991＝71歳：_夫が死去。
- バブル崩壊・1992＝72歳：・・・2000＝80歳：次妹が死去、
- 小泉9.11テロ2001＝81歳：・・・2007＝87歳：長年のピアノ伴奏者田中園子、続いて、義弟の信木三郎が死去、
- 安倍政権発足2012＝92歳：脳梗塞後遺症のため、_没した。

萩谷由喜子「諏訪根自子 美貌のヴァイオリニスト その劇的生涯 1920-2012」,